

# 地域と学校 力合わせて 荒尾で駅前花壇を整備

地域と学校が連携してJ  
R荒尾駅周辺の美化を図ろ  
うと15日、駅前花壇の整備  
活動が行われた。児童、生  
徒、地域住民ら約60人が協  
力して作業。来月の植栽に  
向け、花壇に今ある花を抜  
いて肥料をまいた。

行政協力員が中心となっ  
て発足した「荒尾駅前広場  
の会」などが月に1回、花壇  
の整備活動を行っている。  
今回は荒尾支援学校高等部  
の地域貢献活動をサポート  
している市社会福祉協議会  
からの呼びかけで、初の合  
同活動を実施した。

行政協力員や万田小学校  
5、6年生と教員、同支援  
学校高等部職業コースの  
2、3年生と教員、市や市  
社協の職員らが参加。万田  
小は以前から参加していた  
が、支援学校は初めてで、  
同校生徒は駅前にある空き  
店舗のリノベーションや駅



植栽に向けて花壇を整備する児童ら

構内の清掃にも汗を流し  
た。

万田地区行政協力会の大  
塚幹夫会長（80）は「若い  
人の力は大きく、作業の進  
むスピードが早くて助かり  
ます。若い世代に少しでも

関心を高めてもらい、連携  
が深まるとうれしい」と話  
していた。

12月6日にも合同活動を  
行い、パンジーやビオラな  
どを植える予定。

（河野美緒）

R5年11月27日付け

有明新報掲載記事